

校 園 長 室 か ら



学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和 8 年 3 月 5 日 第 95 号

妙心寺

京都の地図を開くと右側が左京区。左側が右京区。どうしてでしょうか。また、地図をじっくり見るとお寺や神社がたくさんあるのに気づきますが、特に左京区にある御所と右京区にある妙心寺の敷地の大きさに驚くと思います。妙心寺の北側は一条通に接しています。この一条通沿いの築戦前の下宿に住んでいました。この下宿からアルバイト先に行くのにも友人の家に行くのにも妙心寺を通ると直線的で近道。私だけでなく近所の人も、日常的にこの妙心寺を生活道路として使っていました。

当時町のあちらこちらにあった「レンタルビデオ屋」に行くにも、妙心寺を通っていきます。その行き道に外国人観光客がいるのには、気づいていました。財布を持たずに行ってしまうと一度下宿に戻るときにもその観光客はいました。再び妙心寺を通ると、「ワンダフル」なんて言っていました。

ビデオを借りての帰り道。また遭遇。その時、外国観光客から「▽■★○ッ◎」という、よく映画に出てくるひどい言葉を浴びせられました。しかし、感動したのです。本当にこの言葉が使われていて、しかも私にめがけて飛んできていたので、まるで映画の登場人物の一人になった気分でした。

よくよく考えると怒りの気持ちがよくわかります。だって、遠い国からやって来て、日本文化に感動している横を、短パンにランニング姿の男がチャリンコに乗って何度も何度も現れるのですから。

日常と非日常。

今、天王寺の美術館で「妙心寺展」が開催中。

行ってきましたが感動の嵐。国宝や重要文化財があることは、就職して京都を離れてから知りました。妙心寺は、私の非日常になっています。